

令和7年度 第一中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料5-1

		実施方針	目標	具体的な取り組み
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	高齢者への支援やサービスを地域で一体的に提供していくことを目指します。	介護予防普及啓発講座を開催し、介護予防の意識を高める。	介護予防普及啓発講座：年30回 内容：もしバナゲーム、フレイル予防、認知症予防、権利擁護、介護保険制度 等
			介護予防普及啓発講座で高齢者団体や若い世代の団体への包括の周知を行う。	講座の開催時に、包括のPRを行いチラシを配布する
			地域資源の開発のため、自治会、民生委員、介護・福祉関係機関等と連携・協働する。	居場所づくり：伊太地区 等
			民生委員と顔の見える関係づくりをして相談しやすい関係を構築していく。	意見交換会：年2回
認知症施策の推進	認知症にやさしい地域づくりを目指します。	様々な世代の認知症サポーターを養成する。	認知症サポーター養成講座の開催：年5回	
		認知症について学んだり、認知症の人やその家族が参加できる場所づくりについて検討していく。	チームオレンジしまいち連絡会：年4回 「認知症マフ」や「認知症よくわかるた」を活用した、普及啓発活動：随時	
選択項目	多職種、多機関とのネットワーク構築	地域の企業と顔の見える関係を作り、高齢者の相談窓口として周知していくとともに、地域の課題を共有していく。	第一地区高齢者見守りあんしんネットワーク通信の配布：年2回 配布先：ネットワーク参加事業所 意見交換会を行う：年1回	
		地域の企業が行っている高齢者への配慮や取り組みを把握するための聞き取りを行う。	企業への聞き取り 把握した情報をまとめ専門職や住民に向け発信する連携してできる新たな支援策の検討を行う	
		医療・ケアを提供する専門職の会を定期的を開催する。	ケアカフェ：年3回 参加者：医師、薬剤師、ケアマネ、介護事業所、医療介護連携室、行政、住職 等	
		介護支援専門員に対する連携体制づくりと実践力向上支援	ケアマネジメンの質の向上につながる研修、情報提供を定期的に行う。	ケアマネ連絡会：年3回
高齢者虐待防止と成年後見制度の利用支援	虐待対応についての理解を深め、相談しやすい環境づくりに繋がります。	相談後の流れや包括、市の対応方法を可視化したものを作成し周知する。	ケアマネ向けに研修を開催する 内容：相談からコア会議までの流れ、コア会議概要、ケアマネに協力していただきたい内容等	